

2013年(平成25年)9月22日(日)

第1回 家康公検定

～ 生誕の岡崎、出世の浜松、大御所の静岡～

試験問題 100問

問題は四者択一です。(1)から(4)まで四つある答えの中から、正しい番号を選んで、その番号を答案用紙にご記入ください。

<記入例>

【101】家康公の幼名はなんですか？

(1) 犬千代 (2) 吉法師 (3) 竹千代 (4) 日吉丸

↓ 答案用紙

同じ番号の
ところに記
入してくだ
さい。

100	101	102
	3	



受験番号	お名前

問題はお持ち帰りできません。

【1】日本の三英傑さんえいけつといえば、織田信長おだのぶなが、豊臣秀吉とよとみひでよし、そして徳川家康公とくがわいえやすこう。
秀吉は愛知県尾張おわりの生まれ、家康公は愛知県三河みかわの生まれ。
それでは織田信長は、今のどの県の生まれでしょうか？

- (1) 愛知県あいち (2) 岐阜県ぎふ (3) 滋賀県しが (4) 静岡県しずおか

【2】2年後の2015年は、家康公の節目ふしめの法要ほうようが営いとなまれる年となります。家康公が
薨去こうきよして(亡なくなって)何年になるのでしょうか？

- (1) 200年 (2) 300年 (3) 400年 (4) 500年

【3】天文11年(1542)、家康公たんじょうが誕生ころした頃はどのような時代だったのでしょうか？

- (1) 公家くげを中心とする律令政治りつりょうの時代
(2) 平氏による武家の独裁政治どくさいが行われていた時代
(3) 戦国大名ぐんゆうかっきよが群雄割拠げこくじょうし、下克上あうこうが横行した戦国時代
(4) 町人文化が花開いた平和な時代

【4】家康公が生まれた頃、戦国大名として活躍していた武将はだれでしょうか？

- (1) 斎藤道三さいとうどうさん (2) 豊臣秀吉とよとみひでよし (3) 北条早雲ほうじょうそううん (4) 源頼朝みなもとのよりとも

【5】家康公が誕生したとき、まだ生まれていない武将はだれでしょうか？

- (1) 織田信秀おだのぶひで (2) 今川義元いまがわよしもと (3) 伊達政宗だてまさむね (4) 上杉謙信うえすぎけんしん

【6】家康公の母、於大おだいの方はどの武将の娘だったのでしょうか？

- (1) 尾張おわりの織田信秀 (2) 刈谷かりやの水野忠政みずのただまさ
(3) 駿府すんぶの今川義元 (4) 田原とだの戸田康光やすみつ

【7】家康公が誕生した時に、竜神りゅうじんが現れて天に舞まったという伝説がありますが、その他にも不思議なできごとが起きたと伝えられます。どのようなことでしょうか？

- (1) 岡崎城が大きく西に動いた
- (2) 伊賀八幡宮のハスの花が一斉に開いた
- (3) 大樹寺だいじゅじの阿弥陀如来像あみだにょらいぞうが立ち上がった
- (4) 鳳来寺薬師堂ほうらいじやくしどうの寅年の守護神とら しゅごしんの「真達羅大将しんだら」が消えた

【8】家康公が生まれた頃の、岡崎城を取り巻く状況について、正しいものはどれでしょうか？

- (1) 織田氏と今川氏の争いが激化げきかし、岡崎のあずきざか小豆坂で大規模な衝突しょうとつが起きた
- (2) 松平氏の力が強大になり、尾張への進出を始めた
- (3) 織田氏が三河を支配し、岡崎城の松平氏もしたが従った
- (4) 今川氏と武田氏が岡崎城の支配をめぐって衝突をくりかえしていた

【9】家康公の両親ひろただ おだい りえんの広忠と於大の離縁について正しい理由はどれでしょうか。

- (1) 於大は政略結婚せいりやくけっこんで知多郡阿久比の久松氏あぐい ひさまつに嫁ぐことになったため
- (2) 織田信秀きょうようの強要で、広忠は信秀の娘と結婚することになったため
- (3) 於大は今川氏のもとへ人質ひとじちとして送られ、今川の武将の妻になったため
- (4) 松平家は今川方なのに、於大の実家が織田方についたため

【10】天文16年(1547)、6歳の家康公(幼名ようみょう 竹千代たけちよ)が人質として駿府の今川義元あわりのところに向かう途中、ある武将の計略により尾張の織田信秀のもとに送られてしまいました。幼い家康公を奪うばった武将はだれだったのでしょうか？

- (1) 鵜殿長照うどのながてる
- (2) 武田信玄たけだしんげん
- (3) 戸田康光
- (4) 水野忠政

【11】家康公が尾張に人質として連れ去られた6歳のとき、織田信長のぶながは何歳なんさいだった
でしょうか？

- (1) 4歳 (2) 14歳 (3) 24歳 (4) 34歳

【12】織田方の人質となってしまった家康公を取り戻すために、今川義元の軍師
太源雪齋たいげんせつさいは、安城城あんじょう (安祥城あんしょう) の織田信広 (信秀の長男) を捕らえ、家康
公こうかんと人質交換をしました。人質交換の場所はどこだったでしょうか？

- (1) 熱田神宮あつた (2) 笠寺かさでら (3) 大樹寺 (4) 知立神社ちりゅう

【13】駿府での人質生活について伝えられているエピソードがいくつもありますが、
正月参賀さんがの席で、竹千代 (家康公) が義元や重臣たちの前でしたと伝わるこ
とは何でしょうか？

- (1) 義元から祝いの酒すすを勧められて、堂々と飲みほした
(2) 庭に出て元気良く蹴鞠けまりをはじめた
(3) 突然縁側えんがわに出ると庭に向かって立小便をした
(4) 宴席えんせきの真ん中で突然ま舞いを始めた

【14】家康公の駿府での人質時代、母親代わりに養育したと伝えられている家康公
の祖母はだれでしょうか？

- (1) 華陽院けよう (2) 高台院こうだい (3) 崇源院すうげん (4) 伝通院でんつう

【15】駿府での人質時代に、家康公が兵法や南宋学などを学んだ寺院はどこでし
ょうか？

- (1) 清見寺せいけんじ (2) 智源院ちげんいん (3) 臨濟寺りんざいじ (4) 蓮永寺れんえいじ

【16】前問の寺院の住職で家康公の教育に当たったと伝えられる人物は、今川義元の先生でもありました。それはだれでしょうか？

- (1) 登誉上人 (2) 太原雪斎 (3) 快川国師 (4) 本光国師

【17】竹千代(家康公)の手習いの時間、前問の先生は、孔子と弟子の子貢の問答を例に、竹千代に問いかけたといえます。

「国家には、食と兵と信がなければならん。何かの都合で国家がこの三つを供えられない場合、最後に残すものは何か」と。

答えに迷った若き家康公ですが、先生の求めた正解はどれでしょうか？

- (1) 食 (2) 兵 (3) 信 この問題は3択です。

【18】家康公が元服にあたり、これまでの竹千代に替え、名乗った名前はなんだったでしょうか？

- (1) 清康 (2) 信元 (3) 信康 (4) 元信

【19】元服の前年に、今川義元はあるものを竹千代に与え松平当主として認めました。現在も静岡浅間神社に残されている“あるもの”とは何でしょうか？

- (1) 着初めの腹巻(鎧) (2) 初陣用の兜
(3) 義元愛用の脇差(刀) (4) 葵の紋入り陣羽織

【20】家康公は17歳で、崇敬する祖父 清康から一字を引き継ぎ、元康と名を改め、初陣を果たしました。その初陣はどのような内容だったのでしょうか？

- (1) 岡崎衆を率いて三河国幡豆郡の吉良義昭を攻め、勝利した
(2) 岡崎衆を率いて三河国加茂郡の寺部城を攻め、勝利した
(3) 今川軍を率いて尾張国の織田信長を攻めたが途中で和睦した
(4) 今川軍を率いて三河国の宝飯郡牛久保城を攻め、勝利した

【21】永禄3年(1560)の桶狭間おけはざまの合戦で、家康公が果たした役割とはどのような内容だったのでしょうか？

- (1) 今川方のうどのながてる鵜殿長照が守っていた大高城ひょうろに兵糧を運び入れた
- (2) 今川方のおかべもとのぶ岡部元信が守っていた鳴海城なるみじょうの救援きゆうえんに向かった
- (3) 織田方のぜんしょうじとりで善照寺砦こうりやくを攻略した
- (4) 織田方に属していた刈谷城かりやじょうの水野信元を攻めた

【22】「信長公記しんちょうこうき」に記される信長軍の桶狭間での今川軍への攻撃こうげきは、どのようなものだったのでしょうか？

- (1) 今川軍がねしず寝静まるのを待って夜襲やしゆうを掛けた
- (2) 大量てっぽうの鉄砲で今川の騎馬隊きばたいを全滅ぜんめつさせた
- (3) 油断して酒を飲んで休んでいるところを急襲きゆうしゆうした
- (4) 狭い街道で縦に長く伸びた隊列に正面から攻撃こうげきをした

【23】桶狭間の敗戦後、家康公は岡崎城には入らず、まず松平家の菩提寺ぼだいじに入りました。何という寺でしょうか？

- (1) 真福寺しんぶくじ
- (2) 大樹寺だいじゅじ
- (3) 大林寺だいにんじ
- (4) 法蔵寺ほうぞうじ

【24】この寺で自害じがいをしようとした家康公に、住職の登誉上人とうよしょうにんが諭さとした言葉で、平和思想の原点ともなった言葉は次のどれでしょうか？

- (1) 厭離穢土おんりえど 欣求淨土こんくじょうど
- (2) 元和偃武げんなえんぶ
- (3) 天下布武てんかぶぶ
- (4) 風林火山ふうりんかざん

【25】13年ぶりに岡崎城に帰還した家康公は、まず、どのような軍事行動をとったでしょうか？

- (1) 織田信長との和睦交渉に入った
- (2) 今川義元の甲い合戦で、尾張の清洲城を攻めた
- (3) 自立を目指し、西三河の諸城を攻めた
- (4) 今川方に属す東三河の諸城を攻めた

【26】桶狭間の合戦の2年後の永禄5年(1562)、織田信長と家康公が交わした軍事同盟を何と呼んでいるでしょうか？

- (1) 尾張同盟
- (2) 清洲同盟
- (3) 三遠同盟
- (4) 駿府同盟

【27】この同盟は主にどのような内容だったのでしょうか？

- (1) 織田と松平が協力して足利幕府を倒すという内容
- (2) 織田と松平が対等な立場で軍事的に協力し合うという内容
- (3) 織田は松平の臣下になり、今川を攻めるという内容
- (4) 松平は織田の臣下になり、織田に守ってもらうという内容

【28】前問の同盟を結ぶと、駿府に残った妻子を取り戻すため、上ノ郷城を攻め、捕らえた城主の2人の子との人質交換を行いました。現在の蒲郡市にあったこの上ノ郷城の城主はだれだったでしょうか？

- (1) 一色義道
- (2) 鵜殿長照
- (3) 吉良義安
- (4) 新田義高

【29】元康（家康公）は永禄6年（1563）二度目の改名をします。「元」の字を「家」に変え「家康」と名乗りました。この改名には次のような意味がありますが、間違っているのはどれでしょうか？

- (1) 今川義元の「元」を捨てたことで、今川氏と決別し、戦国大名としての自立の決意を示した
- (2) 武家の神様とも崇敬される源八幡太郎義家の「家」を名乗ったことで武将としての飛躍を志した
- (3) 織田信長の近習の前田利家の「家」の字をもらったことで、信長への忠誠を表した
- (4) 三河を統一した祖父清康の「康」を残したことで、祖父の志を継ぐことを示した

【30】改名直後に、家臣団が二分して戦うことになった家康公の大きな危機とは何だったのでしょうか？

- (1) 武田軍の岡崎侵入
- (2) 小豆坂の合戦
- (3) 松平信定の反乱
- (4) 三河一向一揆

【31】前問の危機のさなか、敵に追われた家康公は山中八幡宮にある洞窟に隠れましたが、敵が洞窟を見つけ、近づいてきます。そのとき洞窟の中からある生き物が飛び出したのを見た敵は、ここには人はいないだろうとその場を立ち去りました。

家康公を救ったと伝わるある生き物とはなんのでしょうか？

- (1) 鹿
- (2) 鷹
- (3) 狸
- (4) 鳩

【32】前問の危機を乗り越えた家康公は、永禄9年（1566）朝廷より官位を与えられ三河守に任じられます。この時に松平姓から先祖の徳川姓に復姓しますが、徳川氏の先祖は何氏と伝えられているのでしょうか？

- (1) 足利氏
- (2) 今川氏
- (3) 楠木氏
- (4) 新田氏

【33】永禄10年(1567)家康公の長男^{のぶやす}信康は、ある武将の娘^{よめ}を嫁に迎えることとなりました。この武将はだれでしょうか？

- (1) 上杉謙信^{うえすぎけんしん} (2) 織田信長 (3) 武田信玄 (4) 北条氏政^{ほうじょううじまさ}

【34】永禄11年(1568)「天下布武」^{かか}を掲げた織田信長が武田氏と同盟を結び、室町幕府第15代の将軍に擁立した人物はだれでしょうか？

- (1) 足利義満^{あしかがよしみつ} (2) 足利義昭^{よしあき} (3) 北条高時^{たかとき} (4) 徳川慶喜^{とくがわよしのぶ}

【35】三河一国を平定した家康公は、永禄11年(1568)の暮れに遠江^{ととうみ}に進出します。このとき、盟約^{めいやく}を結んで同時に駿河^{するが}に攻め込んだ武将は誰でしょうか？

- (1) 上杉謙信 (2) 織田信長 (3) 武田信玄 (4) 北条氏康^{うじやす}

【36】家康公が遠江に進出した際、浜名湖周辺の今川方の部将たちは頑強^{がんきょう}に抵抗^{ていこう}しました。特に最後まで抵抗したことで知られる大沢氏の居城^{きょじょう}は、家康公の長男、信康が一時幽閉^{ゆうへい}されていたことでも有名です。現在の館山寺温泉や浜名湖遊園地の場所にあったこの城はなんというのでしょうか？

- (1) 浜松城^{はまつじょう} (2) 曳馬城^{ひくまじょう} (3) 二俣城^{ふたまたじょう} (4) 堀江城^{ほりえじょう}

【37】岡崎城を長男^{ゆず}信康に譲り、浜松城に入った家康公ですが、浜松城のもともとの名前は何だったのでしょうか？

- (1) 頭陀寺城^{ずだじ} (2) 曳馬城 (3) 堀川城^{ほりかわじょう} (4) 見付城^{みつげ}

【38】永禄11年（1568）駿府^{すんぶ}を武田信玄^{うじざね}に追われた今川氏真^{いみまこと}が入城し家康公に抵抗した城で、家康公の遠江平定の最後の戦場となったのはどこでしょうか？

- (1) 掛川城^{かけがわじょう} (2) 高天神城^{たかてんじんじょう} (3) 堀川城 (4) 堀江城

【39】元亀元年（1570）織田・徳川連合軍は近江国^{おうみ}の浅井長政^{あさいながまさ}を攻め、姉川^{あねがわ}で合戦になりますが、この戦^{いくさ}で浅井を助けて連合軍を形成した武将はだれでしょうか？

- (1) 朝倉義景^{あさくらよしかげ} (2) 一色義定^{いっしきよしさだ} (3) 上杉謙信 (4) 細川藤孝^{ほそかわふじたか}

【40】姉川の合戦は、天下^{めざ}を目指す織田信長^{しんこう}の侵攻^{そし}を阻止しようと、足利将軍と石山本願寺^{ほんがんじ}が呼びかけた信長包囲網^{ほういもう}の一端^{いったん}でした。この呼びかけに応じ、信長の同盟者である家康公の領国の遠江に侵攻したのが武田信玄です。当時、武田軍は戦国最強^{うた}を謳^{うた}われましたが、この武田の軍法を記した書をなんといいのでしょうか？

- (1) 甲陽軍鑑^{こうようぐんかん} (2) 信玄公記 (3) 徳川実紀^{じつき} (4) 三河物語

【41】家康公は、遠江^{ととうみ}に侵攻した武田信玄^{うじざね}と三方ヶ原^{みかたがはら}で戦いますが、信玄のとした作戦とはどれでしょうか？

- (1) 家康公を浜松城からおびき出し、野戦^{やせん}で一気に倒そうとした
(2) 周囲の城を落としてから、徐々に浜松城を攻めようとした
(3) 浜松城の家康公を相手にせず、直接、信長^{ぎふじょう}の岐阜城^{ぎふじょう}を攻めようとした
(4) 岡崎城を先に攻め、家康公と信長^{ぶんだん}を分断^{ぶんだん}しようとした

【42】三方ヶ原で大敗した家康公が、浜松城に逃げ戻る途中の茶屋で食べたと伝えられる餅はどんな餅だったのでしょうか？ その餅の名前は、茶屋があったとされる地域の“町名”として今に残り、茶屋の老婆が家康公から代金を徴収したと伝わる場所には「銭取」という地名が残っています。

- (1) 小豆餅 (2) 安部川餅 (3) きなこ餅 (4) 五平餅

【43】浜松城に帰還した家康公は、城門を開けさせ、かがり火を炊いて味方の兵が入り易くしましたが、このとき重臣の酒井忠次はどのようなことをしたと伝えられているのでしょうか？

- (1) 数珠を掲げながら念仏踊りを始めた
(2) ざるを持ちだしてエビすくい踊りを始めた
(3) 櫓にのぼり太鼓をたたいた
(4) 鉄砲を構えて城に迫る敵兵を脅した

【44】三方ヶ原で大敗した家康公でしたが、家臣の久保忠世らが夜襲をかけ一矢を報いたとされる場所があります。それはどこでしょうか？

- (1) 犀ヶ崖 (2) 一言坂 (3) 祝田坂 (4) 龍ヶ岩洞

【45】前問の夜襲で命を落とした武田兵の“たたり”と思われる出来事が続いたため、家康公は岡崎の大樹寺よりある人物を呼び寄せ、怨霊を鎮め、災いを取り除きました。

その法力に感嘆した家康公は、その人物のために駿府に西福寺（現在は松平西福寺：東京）を建立し、開山上人として迎えています。この人物とは誰でしょうか？

- (1) 勢誉愚底 (2) 太源雪斎 (3) 貞誉了傳 (4) 登誉天室

【46】前問の夜襲で命を落とした多くの武田兵を供養するために、家康公の命で始められたとされる浜松の伝統行事は何でしょうか？

- (1) 遠州悪霊払い (2) 遠州大念仏
(3) 遠州凧揚げ大会 (4) 遠州花火大会

【47】三方ヶ原の敗戦の戒めとして、家康公は絵師に自分の姿を描かせました。この「しかみ像」と呼ばれる絵の家康公の顔はどのような表情をしているのでしょうか？

- (1) 憔悴しきった表情 (2) 怒りの表情
(3) にこやかな表情 (4) 泣きじゃくっている表情

【48】天正3年(1575)武田氏との雌雄を決すべく織田・徳川連合軍は武田勝頼と対戦します。その戦いは次のうちどれでしょうか？

- (1) 井田野の合戦 (2) 川中島の合戦
(3) 小牧・長久手の合戦 (4) 長篠の合戦

【49】前問の合戦では、これまでの常識をくつがえす新たな戦法が使われたとされています。どのような戦法だったのでしょうか？

- (1) 長槍隊を中心とする集団戦法 (2) 大砲を使用した重火戦法
(3) 忍者による奇襲戦法 (4) 大量の鉄砲を使用した集団戦法

【50】武田の戦死者の霊を慰めるため、設楽ヶ原の戦場跡で松明を灯して供養したことに始まるお盆の伝統行事を何というのでしょうか？

- (1) 大海 放下おどり (2) 奥三河 花まつり
(3) 信玄原 火おんどり (4) 長篠 幟まつり

【51】天正7年(1579)武田氏への内通の疑いをかけられた家康公の妻 築山殿と長男 信康を処断するよう信長から難題が突きつけられる中、家康公に三男 秀忠が誕生します。

後の2代将軍 徳川秀忠の生まれた城はどこでしょうか？

- (1) 江戸城 (2) 岡崎城 (3) 駿府城 (4) 浜松城

【52】秀忠誕生の5ヶ月後、家康公の長男 信康が自刃させられます。その場所はどこでしょうか？

- (1) 大浜城 (2) 浜松城 (3) 二俣城 (4) 堀江城

【53】天正10年(1582)天下をほぼ手中にしていた織田信長が京都 本能寺にて 明智光秀に討たれます。明智光秀について正しい記述はどれでしょうか？

- (1) 織田信長に仕えながら、足利将軍家の幕臣でもあった。
(2) 比叡山の焼き討ちには参加せず、その頃は九州を攻略していた。
(3) 岐阜城で羽柴秀吉の命令により家康公の接待役を務めた。
(4) 織田信長を討ったのち、天王山の戦いで柴田勝家も倒した。

【54】備中 高松城を攻めていた羽柴秀吉は、本能寺の変を聞き、急遽、講和を結んで京へ引き返し明智光秀を破りました。秀吉が講和を結んだ相手はだれだったでしょうか？

- (1) 小早川隆景 (2) 島津義弘 (3) 長宗我部 元親 (4) 毛利輝元

【55】摂津国 堺にいた家康公一行は、本能寺の変を聞き、急ぎ“伊賀越え”のルートで無事、岡崎に辿り着きましたが、家康公と別行動をとり、殺害されてしまった武田の遺臣はだれだったでしょうか？

- (1) 秋山信友 (2) 穴山信君(梅雪) (3) 武田信廉 (4) 馬場信春

【56】天正12年(1584)羽柴秀吉に不満を抱える信長の次男 信雄が家康公を頼んで秀吉と合戦におよびます。この戦いをなんというのでしょうか？

- (1) 小牧・長久手の合戦 (2) 四条畷の合戦
(3) 矢作川の合戦 (4) 山崎の合戦

【57】前問の戦いに関する記述で正しいのはどれでしょうか？

- (1) 織田・徳川連合軍が本多忠勝・榊原康政等の活躍により圧倒的に勝利した
(2) 秀吉軍が留守になった岡崎城を攻撃し占領した
(3) 秀吉が織田信雄と単独で和睦し、家康公は戦の大義を失い停戦した
(4) 皇室の仲裁により和睦した

【58】この戦いの後、家康公は和睦の証に二男を秀吉の養子として大坂に遣わしました。後に何と言う武将になるのでしょうか？

- (1) 豊臣秀次 (2) 徳川秀忠 (3) 松平忠吉 (4) 結城秀康

【59】天正13年(1585)秀吉が登りつめた官職は次のどれでしょうか？

- (1) 征夷大將軍 (2) 関白 (3) 右大臣 (4) 左大臣

【60】天正14年(1586)豊臣の姓を賜った秀吉は、2年後の天正16年(1588)兵農分離政策のなか、農民の武装を解除する目的で発したのは次のうちどれでしょうか？

- (1) 刀狩令 (2) 生類憐みの令 (3) 惣無事令 (4) 太閤検地

【61】家康公を臣下とした秀吉は東国の攻略に取り掛かります。天正 18 年(1590)
関東の北条氏を攻めますが、秀吉の大軍が取り囲んだ北条氏の本拠地はなん
という城でしょうか？

- (1) 江戸城 (2) 大多喜城 (3) 忍城 (4) 小田原城

【62】家康公の二女 督姫が嫁いだ北条家の 5 代目当主はだれでしょうか。

- (1) 北条氏直 (2) 北条氏政 (3) 北条早雲 (4) 北条時政

【63】北条攻めの陣中に馳せ参じ、秀吉に臣従した東北の覇者といえだれでし
ょうか？

- (1) 大友宗麟 (2) 伊達政宗 (3) 保科正光 (4) 最上義光

【64】北条氏の降伏後、家康公は秀吉により関東に移封され、江戸城に入りますが、
この江戸城を長禄元年(1457)に築いた武将はだれでしょうか？

- (1) 太田道灌 (2) 新田義貞 (3) 北条氏綱 (4) 結城成朝

【65】天正18年(1590) 家康公の関東移封に伴い、岡崎城主となった豊臣方の武
将で、関ヶ原の合戦では家康公に味方し、戦後、筑後柳川 32万石の大名にな
ったのはだれでしょうか？

- (1) 加藤清正 (2) 佐々成政 (3) 立花宗茂 (4) 田中吉政

【66】同じく、家康公の関東移封に伴い、浜松城主となった豊臣方の武将はだれで
しょうか？ 関ヶ原の合戦には二男 忠氏が家康公に味方して出陣、戦後は
出雲富田 24万石の大名になっています。

- (1) 池田輝政 (2) 加藤嘉明 (3) 福島正則 (4) 堀尾吉晴

【67】同じく、家康公の関東移封に伴い、駿府城主となった豊臣方の武将はだれでしょうか？ 関ヶ原の合戦には嫡男の一忠が家康公に味方して出陣、戦後は伯耆米子 17万5千石の大名になっています。

- (1) 浅野幸長 (2) 黒田長政 (3) 中村一氏 (4) 細川忠興

【68】天正 18 年 (1590) 秀吉は長男 鶴松の死を機に自分の官職を後継者に譲ります。後に高野山に追放され、切腹を命じられることになるその後継者とはだれでしょうか？

- (1) 徳川家康 (2) 豊臣秀次 (3) 豊臣秀頼 (4) 羽柴秀長

【69】全国統一を果たした秀吉は、次は海外に領地を求め 2 度にわたり朝鮮に出兵します。このことをなんというのでしょうか？

- (1) 応仁/文明の乱 (2) 文永/弘安の役
(3) 文禄/慶長の役 (4) 保元/平治の乱

【70】次の中で、朝鮮国まで出兵しなかった武将はだれでしょうか？

- (1) 宇喜多秀家 (2) 加藤清正 (3) 徳川家康 (4) 細川忠興

【71】近江国坂田郡に生まれ、秀吉に仕え天正13年 (1585) に治部少輔に叙任された武将は次のだれでしょうか？

- (1) 浅野幸長 (2) 石田三成 (3) 加藤嘉明 (4) 福島正則

【72】死期^{きと}を悟った秀吉は豊臣政権を嫡男^{ちやくなん}の秀頼^{ひでより}に継^つがせるため、政治体制の強化を目指し有力大名による五大老^{たいろう}と直臣^{じきしん}による五奉行^{ぶぎよう}の制度を定めました。五大老の内、秀吉に代わって伏見城下^{ふしみじょうか}で政務^{せいむ}をとった五大老筆頭^{ひつとう}の武将はだれでしょうか？

- (1) 上杉景勝^{かげかつ} (2) 徳川家康 (3) 前田利家^{としいえ} (4) 毛利輝元^{もうりてるもと}

【73】また、五大老の内、大坂城において豊臣秀頼^{もりやく}の傅役^{こうけん}（後見人）として重きをなした武将はだれでしょうか？

- (1) 上杉景勝 (2) 徳川家康 (3) 前田利家 (4) 毛利輝元

【74】慶長^{けいちよう}3年（1598）太閤^{たいこう}秀吉そして前田利家^{あいつ}が相次いで死去した後、五奉行の筆頭であった石田三成と対立し、ついには襲撃^{しゅうげき}まで行ったのはどのような武将たちだったのでしょうか？

- (1) 対立する家康公の家臣たち
(2) 豊臣氏^{うら}に恨みを持つ織田家の武将たち
(3) 朝鮮に出兵できなかった東北の武将たち
(4) 朝鮮に出兵していた武断派^{ぶだんは}の武将たち

【75】慶長5年（1600）五大老のひとりである会津^{あいづ}の大名が石田三成^{みつやく}と密約をし、政治の責任者であった家康公^{はんき}に反旗^{ひるがえ}を翻しました。それはだれでしょうか？

- (1) 上杉景勝 (2) 宇喜多秀家 (3) 前田利長 (4) 毛利輝元

【76】会津征伐^{せいはつ}に向かう家康公^{しもつけのくに}たちが下野国^{かみがた}まで来たとき、石田三成^{きよへい}が上方で拳兵しました。福島正則、池田輝政らの豊臣大名^{ひょうじょう}たちが、家康公に味方して共に石田三成らと戦うことを決定した評定^{ひょうじょう}（会議）を、その地名からなんというのでしょうか？

- (1) 小田原評定^{おだわら} (2) 小山評定^{おやま} (3) 箱根評定^{はこね} (4) 伏見評定^{ふしみ}

【77】前問の評定において、真っ先に自分の居城^{きょじょう}である掛川城^{かけがわ}を家康公^{ていきょう}に提供すると発言し、関ヶ原戦後、その功により土佐^{とさ}20万石の大名に取り立てられた武将はだれでしょうか？

- (1) 黒田長政^{くろだながまさ} (2) 長宗我部盛親^{ちようそかべもりちか} (3) 蜂須賀正勝^{はちすかまさかつ} (4) 山内一豊^{やまうちかずとよ}

【78】会津征伐から反転した家康公はじめ東軍は、美濃国^{みののくに} 関ヶ原^{げきとつ}で西軍と激突します。このとき、西軍の盟主^{めいしゅ}（総大将）として大坂城に残り、関ヶ原では戦わなかった武将はだれだったのでしょうか？

- (1) 安国寺 惠瓊^{あんこくじ えけい} (2) 石田三成 (3) 宇喜多秀家 (4) 毛利輝元

【79】次のなかで、東軍^{ぞく}に属する武将はだれでしょうか？

- (1) 織田秀信^{ひでのぶ} (2) 黒田長政 (3) 小西行長^{こにしゆきなが} (4) 増田長盛^{ましたながもり}

【80】次のなかで、西軍に属する武将はだれでしょうか？

- (1) 池田輝政 (2) 大谷吉継^{おおたによしつぐ} (3) 加藤清正 (4) 京極高次^{きょうごくたかつぐ}

【81】関ヶ原の合戦の最中^{さいちゅう}、どちらに味方するかはっきりしない西軍の小早川秀秋^{こばやかわひであき}に対し、家康公はあることをして東軍に味方させました。それはどのようなことだったのでしょうか？

- (1) 家康公が大声で怒鳴った^{どな}
- (2) 鉄砲を撃ちかけさせた^う
- (3) 褒美^{ほうび}を書いた矢文^{やぶみ}を送った
- (4) 叔母のおね^{おば}（秀吉の妻）に説得に行かせた

【82】合戦の間中、動かずに様子を見ていた島津軍は、終盤^{しゅうばん}にある行動に出ました。どのような行動をとったのでしょうか？

- (1) そのまま静かに降伏^{こうふく}し、薩摩^{さつま}の領地を守った。
- (2) 合戦終了後に家康公の本陣^{ほんじん}に夜襲^{やしゅう}をかけた
- (3) 敢然^{かんぜん}と敵中突破^{てきちゅうとつぱ}を行い、薩摩^{さつま}まで退却した
- (4) 石田三成とともに佐和山城^{さわやま}に立てこもった

【83】中山道^{なかせんどう}から上方^{めざ}を目指した秀忠率いる徳川本隊^{ひき}は、信濃国^{しなの}上田城攻めに手間取って関ヶ原の合戦に間に合うことができませんでした。徳川軍を釘づけにした上田城主はだれだったのでしょうか？

- (1) 上杉景勝
- (2) 里見義康^{さとみよしやす}
- (3) 真田昌幸^{さなだまさゆき}
- (4) 南部利直^{なんぶとしなお}

【84】関ヶ原の合戦で家康公に味方した豊臣大名の中で、吉田城主であり、この後に姫路藩^{ひめじはん}の初代藩主になった武将はだれでしょうか？

- (1) 池田輝政
- (2) 田中吉政
- (3) 福島正則
- (4) 細川忠興

【85】関ヶ原の合戦で勝利した家康公は、味方した東軍の諸将に領地を分け与えますが、家康公がたくさん領地を与えたのはどのような武将だったでしょうか？

- (1) 徳川家や松平家の一族
- (2) 三河時代から苦勞を共にしてきた家臣団
- (3) 徳川家が治める関東の武将
- (4) 豊臣家の家臣だったのに家康公に味方した武将

【86】慶長8年(1603)家康公は後陽成天皇より、幕府を開くことのできる役職に任じられました。この役職はなんのでしょうか？

- (1) 征夷大將軍
- (2) 撰政
- (3) 関白
- (4) 太政大臣

【87】慶長8年(1603)家康公が幕府を開いた場所はどこでしょうか？

- (1) 江戸
- (2) 岡崎
- (3) 浜松
- (4) 駿府

【88】家康公は將軍職を2年で退いたあと、なんと呼ばれるようになったのでしょうか？

- (1) 大御所
- (2) 黄門
- (3) 上皇
- (4) 太閤

【89】大坂城の淀殿と豊臣秀頼母子に仕える大坂方の重臣で、関ヶ原の合戦以降は家康公に協力的な立場で豊臣・徳川の間を取り持ちましたが、大坂の陣の前に家康公との内通を疑われ大坂城を退去、その後は家康公に従い、大和竜田藩主となった賤ヶ岳の七本槍の1人はだれでしょうか？

- (1) 片桐且元
- (2) 真田信繁(幸村)
- (3) 柴田勝家
- (4) 長束正家

【90】関ヶ原の合戦から14年経過した慶長^{けいちよう}19年(1614)、豊臣の誘い^{はいる}に応じて配流先の紀伊国^{くどやま}九度山から大坂城に入り、大坂冬の陣で出丸^{でまる}を築いて幕府軍をさんざん苦しめた武将はだれでしょうか？

- (1) 大野治長^{おおのはるなが} (2) 片桐且元 (3) 後藤基次^{ごとうもとつぐ} (4) 真田信繁(幸村)

【91】慶長20年(1615)、大坂夏の陣が終わると、慶長という元号が家康公の意向により「平和の始まり」を意味する元号^{げんごう}に変わりました。その元号とはなんでしょうか。

- (1) 享保^{きやうほう} (2) 元和^{げんな} (3) 泰平^{たいへい} (4) 平和

【92】近江^{おうみ}の国に生まれ、何度も主君を変えたことで知られる外様^{とぎま}の戦国武将でありながら、危篤^{きとく}の家康公の枕辺^{まくらべ}に呼ばれるほど家康公の信頼厚く、2代秀忠、3代家光^{いえみつ}にも仕えた築城名人で初代伊勢国津藩主^つとなったのはだれでしょうか？

- (1) 加藤清正 (2) 蒲生氏郷^{がもうじさと} (3) 雑賀孫市^{さいがまごいち} (4) 藤堂高虎^{とうどうたかとら}

【93】元和2年(1616)4月17日、戦乱^{しゆうそく}の終息^{しゆうそく}を見届けた家康公は、75年の生涯^{しやうがい}に幕^{まく}を閉じました。家康公が亡くなった場所はどこだったでしょうか？

- (1) 江戸城 (2) 駿府城 (3) 二条城 (4) 伏見城

【94】家康公^{ゆいごん}の遺言^{いたい}により、遺体^{いたい}は駿河の久能山^{ほうむ}に葬^{ほうむ}り、江戸の増上寺^{そうぎ}で葬儀^{そうぎ}を行い、三河国の大樹寺^{いはい}に位牌^{いはい}を納めました。そして一周忌^{いっしゅうき}が過ぎたら、小さな堂^{かんじよう}を建てて勧請^{かんじよう}せよ(神として祀^{まつ}りなさい)と家康公が遺言した場所はどこだったでしょうか？

- (1) 神田明神^{かんだみょうじん} (2) 鶴岡八幡宮^{つるがおかはちまんぐう} (3) 日光東照宮^{にっこうとうしやうぐう} (4) 富士浅間神社^{ふじせんげんじんじや}

【95】家康公より3歳年少で、家康公が駿府人質時代に同じく人質として隣に住んでいて親交があったと言われ、一時は秀吉により高野山に蟄居を命じられたものの、子孫は明治まで続く河内国狭山藩主となった武将はだれでしょうか？

- (1) 今川氏真 (2) 里見忠義 (3) 真田信之 (4) 北条氏規

【96】江戸時代を通じ、在城中に幕府の要職に就いた者が多く「出世城」と呼ばれるようになった城はどこでしょうか？

- (1) 大坂城 (2) 岡崎城 (3) 駿府城 (4) 浜松城

【97】家康公は遺訓と遺言を後世に残していますが、遺言の中に表された有名なことばは、次のうちどれでしょうか？

- (1) 難波のことも、夢のまた夢
(2) 人生50年 下天のうを比ぶれば 夢まぼろしの如くなり
(3) 天下は一人の天下にあらず、天下は天下の天下なり
(4) 浮世の夢は 暁 の空

【98】家康公が駿河国 井川から、毎秋、駕籠に乗せて駿府城まで運ばせた道中行事が現在でも継承されています。この行事を何道中というのでしょうか？

- (1) うなぎ道中 (2) お茶壺道中 (3) しじみ道中 (4) みそ壺道中

【99】家康公が駿河の国で好んだものは、一が富士山、二が鷹(一富士二鷹)と云われますが、三番目にあげられる野菜は何でしょうか？

- (1) きゅうり (2) とまと (3) なすび (4) わさび

【100】久能山^{くのうさん}東照宮^{とうしょうぐう}の拝殿^{はいでん}の正面には、家康公^{かやんこう}が「命の尊^{とうと}さ」を私たちに伝えるための彫刻^{ちようこく}があります。それはどんな彫刻でしょうか？

- (1) 「司馬温公^{しばおんこう}の養割^{かめ}り」の彫刻
- (2) 自^{みづか}らの「しかみ像」の彫刻
- (3) 「聖獸^{せいじゅう} 猿^{ぼく}」の彫刻
- (4) 見^{さんえん}ざる、聞^{さんえん}かざる、言^{さんえん}わざるの「三猿」の彫刻



以上 おつかれさまでした。